

始良市蒲生総合支所庁舎建設
市民ワークショップ

報告書

令和元年 11 月

目 次

1. 市民ワークショップの概要

1.1 市民ワークショップの位置づけ.....	1
1.2 市民ワークショップのスケジュールと検討内容	2

2. 市民ワークショップの結果

2.1 第1回ワークショップ	3
2.2 第2回ワークショップ	7
2.3 第3回ワークショップ	11

1. 市民ワークショップの概要

1.1 市民ワークショップの位置づけ

本庁舎及び加治木、蒲生の両総合支所庁舎の建設に向け、平成 30 年 8 月に「始良市複合新庁舎建設基本構想・基本計画」（以下「基本構想・計画」という。）を策定しました。総合支所庁舎建設に向けた市民参画の取組では、平成 30 年度に市民が主体的にアイデアを出し合う、市民ワークショップを開催しました。この市民ワークショップでは、総合支所庁舎整備に係る計画づくりのキーワードとして、「観光振興」や「憩いの場」などを抽出しました。

本年度は、そこで得られたキーワードや意見をもとに、さらに「庁舎のあり方」や「新庁舎の複合機能とその優先度」、「新庁舎と地域との連携方策」について地域の方々の意見を聴取し、その内容を基本計画に反映させることを目的として、「蒲生総合支所庁舎の整備に関する市民ワークショップ」を開催しました。

今後、地域懇話会や複合新庁舎建設検討委員会、パブリックコメントを通して、蒲生総合支所庁舎建設基本計画を策定します。

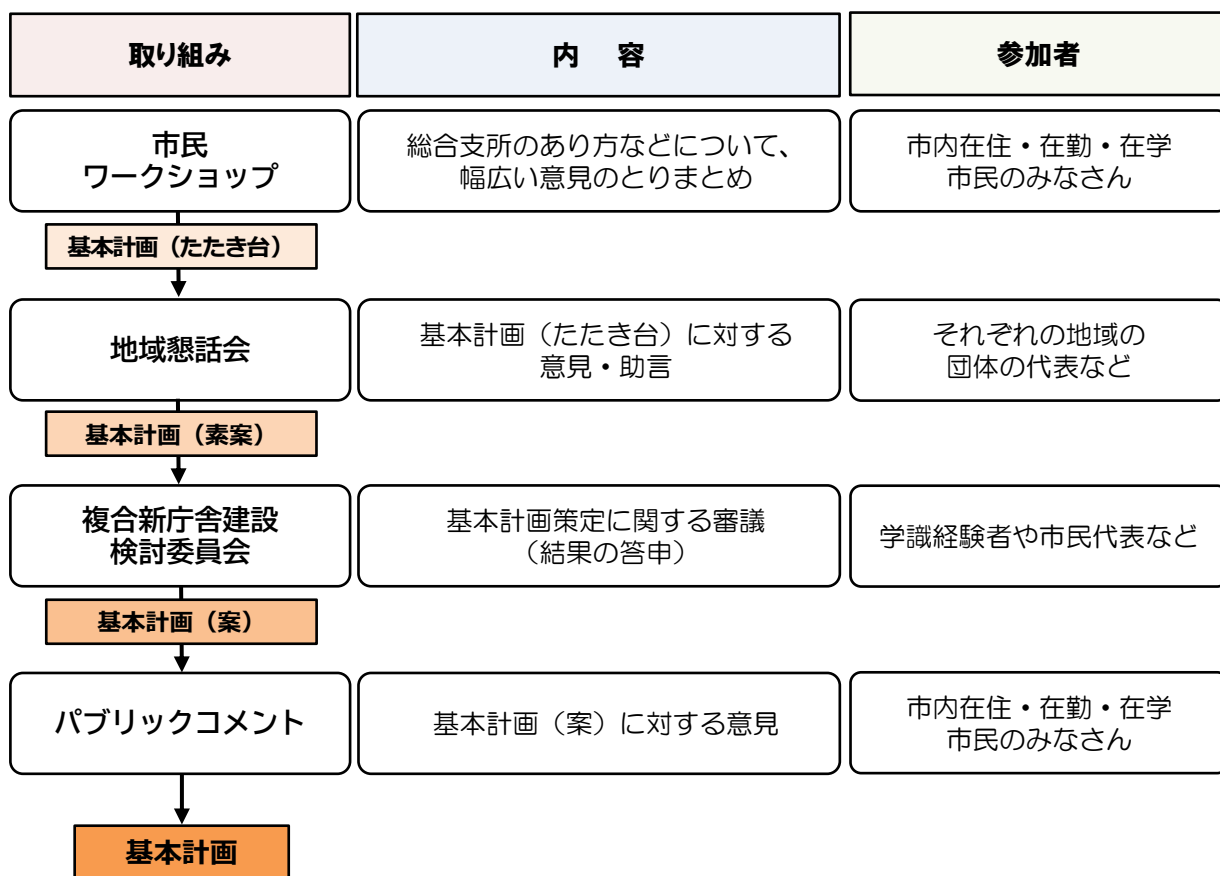


図 1 総合支所庁舎建設基本計画策定に向けた取り組み

1.2 市民ワークショップのスケジュールと検討内容

日 程	目的・テーマ	内 容
第 1 回 (8 月 25 日)	ワークショップにおける検討内容を確認・共有し、新総合支所庁舎のあり方を考える	①新総合支所庁舎建設に係る経緯・取り組み内容等を共有し、理解する。 ②ワークショップの目的、進め方、検討内容等を共有し、理解する。 ③先進事例を学ぶ。 ④現庁舎の課題を踏まえ、新総合支所のあり方について考える。
第 2 回 (9 月 8 日)	新総合支所庁舎と複合化する機能を考える	①前回の振り返りと第 2 回ワークショップの進め方を理解する。 ②複合化した庁舎の事例を学ぶ。 ③新総合支所庁舎における「機能」について、さらに詳しく考える。
第 3 回 (10 月 6 日)	- 新総合支所へ導入する機能の優先度を考える。 - 新総合支所庁舎における地域との連携方策を考える。	①前回の振り返りと第 3 回ワークショップの進め方を理解する。 ②新総合支所に導入する機能の優先度を考える。 ③新総合支所庁舎と地域との連携方策・市民参画について考える。 ④今後のスケジュールを共有する。

図 2 市民ワークショップの検討内容

2. 市民ワークショップの結果

2.1 第1回ワークショップ

(1) ワークショップの概要

第1回ワークショップでは、新庁舎建設に係るこれまでの経緯やワークショップの進め方、新庁舎建設に係る先進事例の紹介など、庁舎建設の基本的な情報を共有しました。また、現在の総合支所庁舎における課題と新しい総合支所庁舎のあり方について、A、Bの2グループに分かれて意見交換を行いました。

第1回ワークショップの概要を表1に示します。

表1 第1回ワークショップの概要

日 時	令和元年8月25日（日）14:00～16:00
場 所	始良市蒲生公民館 2階 みがき・とぎの間
目 的	ワークショップの検討内容を確認・共有し、新しい総合支所庁舎のあり方を考える
参加人数	15人
1. 開会	
2. 主催者挨拶	
3. これまでの経緯等の説明	
4. ワークショップの趣旨説明	
5. ワークショップの進め方説明	
6. 事例紹介	
■ 基本計画とは…	
■ 現総合支所庁舎の課題と先進事例における窓口機能、共用空間について紹介	
7. グループ討議	
■ テーマ：現在の総合支所庁舎の課題と新しい総合支所庁舎に求めるもの、あり方等について	
8. 今日のまとめ	
■ 出された意見を発表する	
■ 簡単な整理、意見の共有	
9. 事務連絡（次回の予定）	
10. 閉会挨拶	

表 2 第1回ワークショップの様子



(2) 第1回ワークショップで出された主な意見

A 班	【交流の場】 ・ 工作室（木工機具を置く）・畳の部屋 ・ ホール、会議室、公民館機能 ・ 喫茶ルーム（市民の集いの場として） ・ 観光客も住民もくつろげるスペース ・ 歴史を活かしたスペース ・ 大広場（宿泊施設） ・ 児童施設、学習スペース ・ お茶、コーヒー等を設置する ・ 閉庁している時間帯も使える研修室 ・ まちかどピアノ ・ 公と民の垣根を低く ・ 自由に使える掲示板 ・ 文化の発信機能「ギャラリー、歴史室、図書室」 【利用しやすい庁舎】 ・ 何でも相談出来る窓口 ・ 休日窓口 ・ ATM の設置 ・ 地下駐車場、土地の有効活用 ・ 外国人対応（多言語化＋マーク活用） ・ 点字、色弱対応、難聴対応 ・ 補助犬への対応 ・ エレベーターの配置 ・ 廊下を広くする ・ バリアフリー、床をフラットにする	【わかりやすい庁舎】 ・ 案内をわかりやすく ・ 説明で難しい単語を使わず、誰でもわかる言葉を使う ・ 風通し、見通しの良い庁舎 【防災】 ・ 避難所機能 ・ 水の確保（災害対応） ・ 防犯カメラ ・ 地震対応（免震構造） ・ 防犯、防災の司令室を設置 【エコな庁舎】 ・ 太陽光再生エネルギー活用 ・ 緑化（屋上・壁面） ・ 空調より風通し 【景観・材料】 ・ 落ち着いた、あたたかみのある外観 ・ 蒲生和紙・蒲生メアサ杉を内装に使う ・ 城下町を意識したデザイン 【施設の一体化】 ・ バス停の集約、JR の時刻との連携 ・ いまある施設の活用も考える
B 班	【交流の場】 ・ 待ち合わせ場所として、蒲生支所らしいスペースが欲しい（おしゃれなカフェなど） ・ 憩いの場 ・ 生涯学習のための学習室が欲しい ・ 多機能なオープンな場を作りたい 【観光・農業との連携】 ・ 農業体験ができる ・ 観光案内所設置 ・ 林業の強みを活かす ・ 観光の拠点となるような施設 【利用しやすい庁舎】 ・ バリアフリー化（施設全般） ・ 機密保持の為に個室設置 ・ 更衣室の設置 ・ 明るいトイレの設置 ・ 授乳室の設置 ・ 十分な駐車スペース 【防災】 ・ 避難所となる庁舎	【施設の一体化】 ・ 郷土文化課、地域交流センター ・ 視聴覚学習室、情報センター ・ 社協、蒲生公民館の複合化 ・ 公共施設の集約 ・ 財政負担の軽減 ・ 図書施設の充実 【複合施設】 ・ 健康づくりジム ・ 温泉 ・ カフェ（朝食をとれる） 【関連する公共施設について】 ・ 独立した図書館をバリアフリーに ・ 独立した文化会館をバリアフリーに ・ 子供達のために学習室を図書館に設置 ・ 図書館のスペースは 1500 m²以上が必要 【景観・材料】 ・ 床に蒲生杉を使って欲しい ・ 武家屋敷風の外観

(3) 第1回ワークショップのまとめ

第1回ワークショップにおいて意見交換した「総合支所庁舎に求めること」や「庁舎のあり方」についての意見をまとめると、以下のようなキーワードが得られました。

総合支所庁舎には、「市民の交流できる場」や「学習・図書機能」の配置、「災害時の対策や地域との連携」についての意見が多く出されました。また、「景観や材料（地元産の木材）」、「歴史や観光」などの意見が出されました。

【新しい総合支所庁舎に求めること】

- 市民が集い、交流できる
- 学ぶことができる
- 災害時でも安全心できる
- 地域との連携を図る
- 歴史・文化・観光の情報を発信する

図 3 第1回ワークショップのまとめ

2.2 第2回ワークショップ

(1) ワークショップの概要

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップにおいて意見を交換した「総合支所庁舎のあり方」について、参加者全員で確認しました。前回の意見を踏まえ、第2回ワークショップでは、「総合支所庁舎と複合化する機能を考える」をテーマとして、A、Bの2グループに分かれて意見交換を行いました。

第2回ワークショップの概要を表3に示します。

表3 第2回ワークショップの概要

日 時	令和元年9月6日（日）14:00～16:00
場 所	始良市蒲生公民館 2階 みがき・とぎの間
目 的	新しい総合支所庁舎と複合化する機能を考える
参加人数	11人
1. 開会 2. 第1回ワークショップの振り返り 3. 第2回ワークショップの進め方 4. グループ討議 ■ テーマ：新しい総合支所における新たな導入機能について、さらに詳しく考える。 5. 今日のまとめ ■ 出された意見を発表する ■ 簡単な整理、意見の共有 6. 事務連絡（次回の予定） 7. 閉会挨拶	

表 4 第2回ワークショップの様子



(2) 第2回ワークショップで出された主な意見

A 班	【市民が集い、交流できる】 ・市民ホール ・福祉センター ・会議室（大・小） ・工作室（木工機械） ・サロンルーム待合 ・ギャラリー展示室 ・フリーWi-Fi、多言語案内 ・市民と観光客との交流 ・玄関のロビー（子どもの絵、書店示） ・地元のデザイナーの参加 ・子どもの遊べる水路または足湯 ・キッズスペース（オープンの場とクローズの場） 【学ぶことができる】 ・図書室（図書を読む場所） ・学習スペース ・図書スペースとカフェをロビーに 【歴史・文化・観光の情報を発信する】 ・紹介パネル（歴史・文化） ・掲示スペース ・活動の発表 ・バス・JR時刻表、まちあるき案内 ・マチナカの他の施設、お店の案内 ・情報発信コーナーの設置、FM放送	【災害時でも安全で安心できる】 ・防災（調理室） ・防災（地震対応、免震構造） ・外光をとりいれる ・屋上、壁面緑化 ・放射能測定器 ・太陽光発電 【地域との連携を図る】 ・多目的室（間仕切り） ・スポーツ合宿場として学生を誘致 ・障がい者宿泊施設 ・障がい者スポーツ施設 ・お風呂のついた宿泊室 ・たたみ部屋（非常時は避難所に） 【その他】 ・蒲生和紙を使い歴史・文化を発信 ・木質化 ・蒲生らしさ ・便利機能の必要性を一から考え直す（ウォッシュレット、電光掲示板） ・目安箱の設置 ・散歩コースになるようなしかけ ・日本語＋正しい英語での表記 ・カフェの営業の雰囲気づくりに配慮
B 班	【市民は集い、交流できる】 ・市役所も若手にも意見を聞いてほしい ・行政機能の明確化 ・歴史文化の発注も兼ねて ・喫茶スペース（観光客・地元の交流） ・汗を流すスポーツジム（総合体育館は高齢者も多く交流の場） ・国際化に対応した機器の充実 ・歴史を反映した支所の建物の建立外壁 ・行きたくなるトイレ 【学ぶことができる】 ・学習スペース ・自分で検索できる図書スペース ・静かに出来る場所 ・個室のような勉強スペース ・歴史教育の場 ・研修室 ・土日もある、自習スペース ・冷房がある	【歴史・文化・観光の情報を発信する】 ・歴史・文化に関する情報の集約 ・文化資料をデータベース化し、PC等の閲覧場所を設置 ・観光案内、観光情報の発信 ・行事等の映像投影スペース（カフェ兼用） ・歴史の変遷がわかるパネルの設置 【災害時でも安全で安心できる】 ・本来の情報発信機能が重要（避難所は各地にあるため） ・蒲生地区の過去の災害についての情報 【地域との連携を図る】 ・自治体と連携した情報発信 ・バスなどのアクセス強化 ・新たな交通手段の窓口機能（デマンドタクシー等） ・交通情報（バス）の発信

(3) 第2回ワークショップのまとめ

第2回ワークショップにおいて意見交換した「総合支所における新たな導入機能（複合機能）」は、概ね次のようにまとめられます。

まず、「市民が集い、交流できる機能」として「多目的スペース」や「交流・喫茶等のスペース」の設置、「災害時でも安全で安心できる機能」として「防災・避難、備蓄機能」の設置について多くの意見が出されました。また、「学習・図書に関する機能」や「子育てに関する機能」、「展示に関する機能」に関する意見も多くあげられました。

また、地域の歴史・文化に関する情報発信を行う「展示・情報発信機能」や現蒲生公民館内にある「学習・図書・読書機能」などの意見が出されました。

【導入機能（スペース・機能）】

- | | |
|-------------|---------------|
| ●多目的スペース | ●交流・飲食・喫茶スペース |
| ●学習・図書・読書機能 | ●防災・避難・備蓄機能 |
| ●運動・健康増進機能 | ●子育て支援・保健機能 |
| ●展示・情報発信機能 | |

図4 第2回ワークショップのまとめ

2.3 第3回ワークショップ

(1) ワークショップの概要

第3回ワークショップでは、第2回ワークショップで意見を交換した「総合支所庁舎に複合化する機能・新たな導入機能」について、参加者全員で確認しました。前回の意見を踏まえ、第3回ワークショップでは導入機能（複合機能）について、その「優先度」に関する意見交換を行いました。さらに、新しい総合支所庁舎がにぎわい拠点となるために、「市民自らが総合支所庁舎においてできること」、「総合支所庁舎と地域との協働による連携方策」について考え、意見を出し合いました。

第3回ワークショップの概要を表5に示します。

表5 第3回ワークショップの概要

日 時	令和元年 10 月 6 日（日） 14:00～16:00
場 所	始良市蒲生公民館 2階 みがき・とぎの間
目 的	①新しい総合支所へ導入する機能の優先度を考える ②新しい総合支所庁舎における地域との連携方策を考える
参加人数	6人
1. 開会	
2. 市長挨拶	
3. 第2回ワークショップの振り返り	
4. 第3回ワークショップの進め方	
5. グループ討議	
■ テーマ①：導入機能の優先度を考える。	
■ テーマ②：新しい総合支所と地域との連携方策・市民参画について考える。	
6. 今日のまとめ	
■ 出された意見を発表する	
■ 簡単な整理、意見の共有	
7. 事務連絡（今後の予定）	
8. 閉会挨拶	

表 6 第3回ワークショップの様子



(2) 第3回ワークショップで出された主な意見

1) 導入機能の優先度

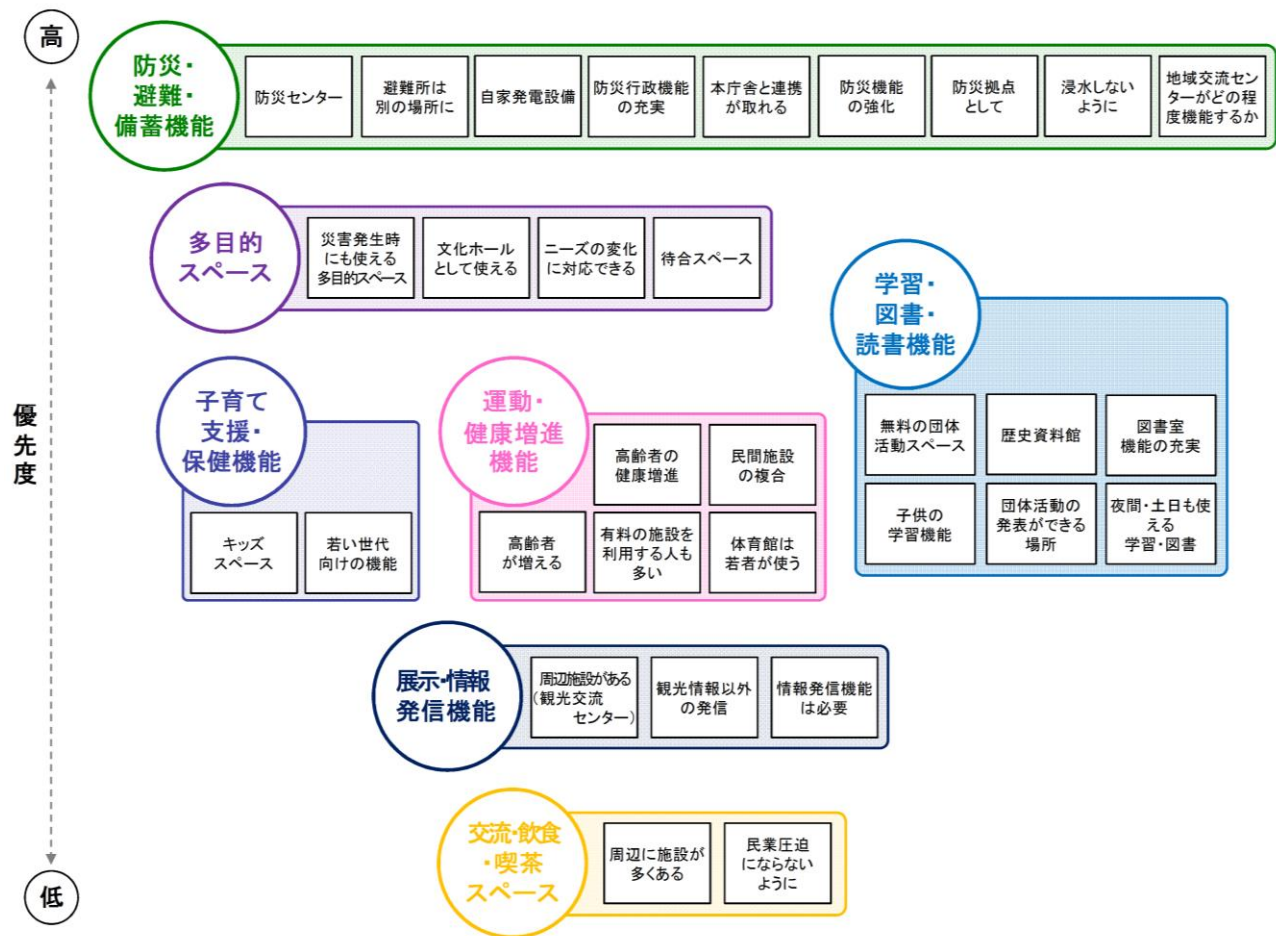


図 5 導入機能の優先度

2) 総合支所と地域との連携方策・市民参画

【イベント】 ・外部にイベントスペース ・施設の維持管理 ・多目的スペースの活用（まつりの情報） ・どんと祭りはスペースが不足しそう ・祭りを盛り上げる活動 【育成】 ・実施主体の確立 【交流】 ・世代間交流	【美化活動】 ・石垣を住民で作る（現公民館） ・草取り ・花を植えるプランター 【その他】 ・ボランティア ・物産館の活用（くすくす館） ・補助制度の活用 ・少子高齢化を見据えた活動
--	---

(3) 第3回ワークショップのまとめ

1) 導入機能の優先度

総合支所庁舎に導入を検討する機能のうち「もっとも優先度が高いもの」として、「防災・避難・備蓄機能」があげられました。また、「防災・避難・備蓄機能」と共用できる「多目的スペース」や「運動・健康増進機能」などについても、優先すべき機能として意見が出されました。その他の機能については、概ね同程度の優先度とする意見が多く上げられ、市民の防災意識の高さがうかがえました。

2) 総合支所と地域との連携方策・市民参画

「市民自らが総合支所庁舎においてできること」、「総合支所庁舎と地域との協働による連携方策」については、これまで地域の各種イベント等の開催や、参加者自らが得意とする分野に関する講習や講座の開催、イベントに関する広報活動やボランティア活動についての意見が出されました。また、地域の各種団体が活動の場として活用できるだけではなく、その取組みをサポートするような総合支所庁舎になってほしいという意見もあげられました。